

2022年6月27日

各位

会社名 東海リース株式会社
代表者名 代表取締役社長 塚本 博亮
(コード番号 9761 東証スタンダード市場)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、コーポレートガバナンスに関する基本方針において、取締役会の構成および運営について網羅的に自己評価・自己分析を行うアンケート調査を毎年一回実施し、その集計結果に基づき、取締役会にて議論を行い、取締役会の実効性を高めるための改善につなげることを定めております。

この方針に基づき、2021年度の分析、評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 分析、評価の方法

当社取締役会の実効性に関する質問票を、すべての取締役11名（2022年5月20日現在）に配布し、無記名方式にて回答を得ました。

2. 評価項目

- (1) 取締役会の規模、構成
- (2) 取締役会の運営状況
- (3) 取締役会における議論などの有効性
- (4) その他

3. 評価結果の概要

当社の取締役会は、規模・構成において、経営上の重要な意思決定および業務執行の監督を適正に行うための体制が概ね確保されていること、適切な議事運営のもと、議案の審議に十分時間をかけ、活発かつ建設的な議論が行われていることなどから、取締役会の実効性は確保されていると評価しました。

一方、取締役会の実効性を高めるために取り組むべき課題として、次のような意見も得られました。

- ・取締役求められる知識は日々変化していくため、対応しうる取締役の選任やトレーニングが必要である。

また、2022年6月16日付で発表しました当社取締役のコンプライアンス違反の件につきましては、内部統制において「重要な不備には相当していない」と判断しておりますが、取締役および従業員へのコンプライアンス意識の啓発活動が不足していたと考えております。

4. 今後の取り組み

上記の取締役会の実効性に関する評価結果は前年からの継続課題であることを踏まえ、当社は取締役会全体の実効性を確保するために、挙げられた課題を中心として改善に取り組み、かつ、ガバナンス体制の強化として他社主催のセミナーなどに積極的に参加するなど、コンプライアンス意識の定着を図ってまいります。

以 上